



報道関係者各位

茨木市立文化財資料館開館 40 周年記念 第 40 回テーマ展「藤原鎌足と大織冠^{たいしよっかん}信仰」を開催

茨木市立文化財資料館（茨木市東奈良三丁目 12-18）は令和6年（2024年）に開館40周年を迎えました。これを記念して、大化の改新の立役者であり、藤原氏の祖となった藤原鎌足と本市との深い関わりを紹介するテーマ展「藤原鎌足と大織冠^{たいしよっかん}信仰」を10月19日（土）から12月9日（月）にかけて開催します。

市内北部の安威・桑原地域には、鎌足の墓であると有力視されている阿武山古墳をはじめ鎌足開創の寺院や鎌足を祀る神社が点在し、また鎌足父子の肖像画などゆかりの作品も数多く伝わっています。この地で生まれ、今に伝わる鎌足への信仰（大織冠信仰）を美術・古文書・考古資料などから多角的に捉え、わかりやすくご紹介します。

特に、本市指定文化財である『紙本著色大織冠像^{しほんしゃくしよくたいしよっかん}』（地福寺所蔵）は、寛政年間（1789～1801年）に松平定信が編纂した『集古十種^{しゅうこじっしゅ}』や『古画類聚^{こがるいじゅう}』に掲載されたものであり、今年修理を終えたばかりの注目の作品です。また、奈良国立博物館に寄託されている談山神社所蔵の『多武峯縁起絵巻^{たふのみね}』も展示し、鎌足の遺骸を「阿威山」から多武峯に改葬するために掘り起こしている珍しい場面も公開します。

本テーマ展を通じて、藤原鎌足が茨木の地にゆかりの深い人物であったことを、市内外の多くの方々に知っていただければと思います。ぜひ取材・撮影にお越しく下さい。

■テーマ展の概要

展 示 名：第40回テーマ展「藤原鎌足と大織冠信仰」

開催日時：令和6年10月19日（土）～12月9日（月）、午前9時～午後5時

休 館 日：毎週火曜日

入 館 料：無料

会 場：茨木市立文化財資料館1階展示室

主 催：茨木市教育委員会



次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

【本件に関する問合先】

茨木市教育委員会教育総務部歴史文化財課

茨木市立文化財資料館長

電話：072-634-3433